

京都大学 1973年 入学試験 文系数学 問題4

問題

a, b, c は平面上の単位ベクトルで、どの二つも 120° の角をなすものとする。このとき、この平面上の任意のベクトル x に対して

1. $a \cdot x + b \cdot x + c \cdot x = 0$ が成り立つことを示せ。
2. $(a \cdot x)^2 + (b \cdot x)^2 + (c \cdot x)^2$ の値を x の大きさ l を用いて表わせ。

ただし、 $a \cdot x$ などはベクトルの内積を表わす。

解答

座標軸を a が原点からのベクトルとし、 x 軸の正の方向に一致する様にとる。

そのとき、反時計周りの角度を正とする。

a, b のなす角が 120° なので、 b を a を正の方向に 120° 回転させたものとする、 c は、負の方向に 120° 回転させたものとなる。

でなければ、 b と c が一致してしまい、 b と c が 120° の角をなさなくなってしまう。

また、 c は、負の方向に 120° 回転させたものとする、たしかに b と c は 120° の角をなす。

このとき、 a, b, c は単位行列なのでそれぞれは

$$a = (1, 0)$$

$$b = (-1/2, \sqrt{3}/2)$$

$$c = (-1/2, -\sqrt{3}/2)$$

となる。

このとき、 $x = (x, y)$ とすると

1.

$$\begin{aligned} a \cdot x + b \cdot x + c \cdot x &= (1 \cdot x + 0 \cdot y) + (-1/2x + \sqrt{3}/2y) + (-1/2x - \sqrt{3}/2y) \\ &= 1 \cdot x - 1/2x - 1/2x + \sqrt{3}/2y + -\sqrt{3}/2y \\ &= 0 \end{aligned}$$

となり、なりたつ。

2.

l は x の大きさなので $l^2 = x^2 + y^2$

$$\begin{aligned} & (\mathbf{a} \cdot \mathbf{x})^2 + (\mathbf{b} \cdot \mathbf{x})^2 + (\mathbf{c} \cdot \mathbf{x})^2 \\ &= (1 \cdot x + 0 \cdot y)^2 + (-1/2x + \sqrt{3}/2y)^2 + (-1/2x - \sqrt{3}/2y)^2 \\ &= x^2 + \frac{1}{4}x^2 - \frac{\sqrt{3}}{2}xy + \frac{3}{4}y^2 + \frac{1}{4}x^2 + \frac{\sqrt{3}}{2}xy + \frac{3}{4}y^2 \\ &= x^2(1 + \frac{1}{4} + \frac{1}{4}) + y^2(\frac{3}{4} + \frac{3}{4}) \\ &= x^2\frac{3}{2} + y^2\frac{3}{2} \\ &= \frac{3}{2}(x^2 + y^2) \\ &= \frac{3}{2}l^2 \end{aligned}$$

以上より、

$$\frac{3}{2}l^2$$